

3 個別事業の進捗状況

基本目標1 子育て家庭の「育児力」の向上

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
1	子育て支援総合コーディネート事業	「子育て支援プラザ(仮称)」に子育てコーディネーターを配置し、各種子育てサービスの情報収集、インターネット等を活用した情報提供を行う。また、子育てに関する相談を受け、サービスの提供に必要な援助や関係機関との連絡調整を行う。	新規	子育て支援館で、インターネット等を活用した子育て支援情報の提供や子育てに関する相談を実施し、助言・指導や他関係機関との連絡調整を実施した。		子育て支援課
2	子育て支援関連ホームページの運営(子育て支援ホームページ・子どもホームページ)	各種子育て支援サービス等が利用者に十分に周知されるよう、ホームページを活用した子育て支援情報等の提供を行う。また、子どもたちにとって有益な情報が得られるよう子どもホームページの掲載内容の充実を図る。	拡充	情報を更新するなど、内容の充実を図った。子どもホームページは、子ども交流館のホームページへ統合した。		子ども家庭福祉課
3	子どもと家庭のハンドブック作成	各種子育て支援サービス等が、利用者に十分に周知されるよう、「子育て支援」、「各種助成制度」など、各種行政サービス等の概要を説明した冊子を、福祉事務所、保健センターなどで配布する。今後、見やすい・わかりやすい冊子とすため、掲載内容の見直しなど内容の充実を図る。	拡充	21,000部作成		子ども家庭福祉課
4	子育てマップの作成	各種の子育て支援サービスが利用者に十分に周知されるよう、行政、地域住民、地域の子育て支援団体(育児サークル、NPOなど)の協働により、保育所、幼稚園などの公立施設、小児科などの病院、遊び場や地域ごとの子育てに役に立つ情報を収集し、マップを作成・配布する。	新規	実施に向けての検討を行った。	-	子ども家庭福祉課
5	子育て支援情報紙「いきいき子育て」の発行	年2回、幼児期からの家庭・地域の教育力向上を図るため、子育て支援に関する情報等を提供する。	維持	7・12月に各88,000部発行した。		教育委員会企画課
6	子育て支援プラザ(仮称)整備事業	親子の自由な交流・情報交換の場、各種子育て相談、育児講座、ファミリー・サポート・センター事業など子育てを総合的に支援する基幹型子育て支援センターを整備する。名称「子育て支援館」	新規	平成19年10月開設に向け、保留床(建物)の取得を実施した。		子育て支援課
7	地域子育て支援センター事業	遊びを通じた親子のふれあいの場の提供、各種相談指導、子育てサークルへの支援、子育てに関する情報提供を行う。	拡充	平成19年10月に「子育て支援館」を開設し、プランの数値目標である8か所を達成した。		子育て支援課
8	子育てリラックス館運営事業	家庭や地域での子育て支援機能の強化、子育てへの不安感や精神的負担感等の解消を図るため、各区2館体制とする。	拡充	緑区に1館開設し、9館とするほか、開館日を週6日とした。		子育て支援課

3 個別事業の進捗状況

基本目標1 子育て家庭の「育児力」の向上

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
9	子育てサポーター・家庭教育アドバイザー配置事業	子育てサポーターは、公民館で活動している子育てサークルや家庭教育学級等の相談、子育てに悩みや不安をもつ親等保護者に対して、指導または相談に応じる。また、家庭教育アドバイザー(臨床心理士有資格者)は、必要に応じ、専門的な立場から相談に応じるほか、子育てサポーターへの助言等も行う。今後とも、子育てサポーターの研修等を通じて、質的向上を図るとともに、本事業をより多くの方に周知する。	維持	子育てサロン事業「子育てママのおしゃべりタイム」などを中心に、子育てサポーターは延490回、家庭教育アドバイザーは延24回の活動を行った。		生涯学習振興課
10	乳幼児医療費助成事業	保険診療の範囲内で、保護者負担額を除いて医療費の自己負担額を助成する。 【平成18年7月まで】 4歳未満児:通院、入院 4歳～小学校就学前児:継続して7日以上入院 【平成18年8月から】 小学校就学前児:通院、入院	維持	小学校就学前児の通院・入院の医療費の一部を保険診療の範囲内で助成した。		子育て支援課
11	児童手当支給事業	家庭生活の安定と児童の健全育成を図るため、「児童手当」を支給する。 第1子・第2子(3歳未満) 10,000円(月額) (3歳～小学校修了前) 5,000円(月額) 第3子以降 (0歳～小学校修了前) 10,000円(月額) 【平成18年3月まで】 小学校3学年修了前まで 【平成18年4月から】 小学校修了前(12歳到達後の最初の年度末)まで 【平成19年4月から】 乳幼児加算創設 (3歳未満 一律1万円)	維持	平成19年4月から、乳幼児加算を創設し、0歳から3歳未満児に対する児童手当の月額を一律1万円とした。		子育て支援課
12	出産育児一時金	出産費用の負担を軽減するため、国民健康保険被保険者の出産時に、出産児1人につき30万円の出産育児一時金を支給する。【平成18年10月から】 35万円	維持	出産育児一時金を1,379件支給した。		健康保険課
13	出産費貸付金	出産育児一時金の支給が見込まれる場合に、30万円を限度として、出産に要する資金を貸付ける。【平成18年10月から】 35万円	維持	150件の出産費貸付を行った。		健康保険課
14	助産施設運営費	助産施設へ入所し、出産した妊産婦に助産費用を支出する。	維持	助産施設へ入所し、出産した妊産婦に助産費用を支出した。(2施設、延べ24人)		子ども家庭福祉課
15	私立幼稚園就園奨励費補助金(市単、国庫補助)	市内私立幼稚園及び周辺市外私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、助成金を支給することにより、保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園就園を奨励する。	拡充	私立幼稚園児 17,614人に補助を実施した。		学事課

3 個別事業の進捗状況

基本目標2 地域の「育児力」の向上

【進捗状況欄の意味】 …… 概ね実施した - …… 今後実施予定 × …… 19年度事業予定なし 終 …… 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
16	児童センター(拠点施設)の整備	児童の健全育成の拠点施設として、市内の中心部に、子どもたちの交流の場、スポーツ・音楽など、子どもたちのさまざまな活動を支援するため、児童センターを設置する。名称「子ども交流館」	新規	H19.10.20 運営開始(H19年度来館者数 56,203人)		子ども家庭福祉課
17	地域子ども教室推進事業	子どもたちの居場所を確保し、子どもたちの放課後、スポーツや文化活動などの様々な体験活動や地域住民との交流活動等を支援する。	廃止	地域子ども教室は終了している。平成19年度より新規事業として「放課後子ども教室推進事業」(国庫補助授業)を市内120小学校で、実施している。	終	生涯学習振興課
18	特別教室開放推進事業	土・日曜日に、学校の特別教室を開放し、子どもの居場所を作る。平成17年度のモデル事業終了後、19年度、要綱を策定し、花見川区と緑区で実施している。	維持	平成19年度に要綱を整備し、利用対象者を中学校区から行政区での利用に拡充した。瑞穂小学校(花見川区)、扇田小学校(緑区)で実施。		生涯学習振興課
19	公民館主催事業(少年教育)	公民館主催の少年教育事業の一環として、少年に学習機会を提供するための講座を開設する。今後とも、子どもたちの学習ニーズにより対応した講座の開設を図る。	維持	「少年教育」に関する事業を47公民館において実施。		生涯学習振興課
20	公民館等における指導者及び各種ボランティア養成	団体・グループ活動の中心となるリーダー等の養成の一環として、子どもを対象とする活動に携わるリーダー・ボランティアの養成を図り、各種活動の充実に努めるとともに、社会のニーズにより適合した講習会等の充実に努める。	拡充	ジュニアリーダー等の養成講座の実施。		生涯学習振興課
21	子どもルーム整備・運営事業	小学校低学年の児童を対象に授業終了後に遊び及び生活の場を提供するため、小学校の空き教室及び民間施設等を活用し整備する。施設整備は、原則、全小学校区に子どもルームを設置することを目標とし、併せて狭隘、老朽化施設の改善も図る。運営については、指導員の適正配置、指導体制の充実に努めるとともに、処遇の改善を行う。	拡充	登戸、横橋、白井小の3か所を新規に開設し、開設ルーム数を102小学校区から105小学校区とした。また、施設改善を3か所(幕張西、高洲第4小、桜木)、保健センター跡施設2か所(蘇我、高洲)を活用し、施設改善(蘇我第2ルーム、海浜稲毛)を実施した。		子ども家庭福祉課
22	保育所所庭の休日開放	休日に保育所の所庭等を開放し、利用できるようにする。	新規	就学前の子ども居場所としての実態及びニーズを把握し事業の必要性を含め、管理・運営方法について検討した。	-	保育課
23	青少年育成委員会活動事業	市内56中学校区青少年育成委員会から受けた申請を精査し、活動の費用を補助する。	拡充	市内56中学校区に設置されている青少年育成委員会へ活動費を助成した。		青少年課

3 個別事業の進捗状況

基本目標2 地域の「育児力」の向上

【進捗状況欄の意味】 …… 概ね実施した - …… 今後実施予定 × …… 19年度事業予定なし 終 …… 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
24	青少年相談員活動事業	青少年相談委員が行う各事業を支援するため、費用を補助する。	維持	市内56中学区の青少年相談員で構成される青少年相談員連絡協議会へ活動費を助成した。		青少年課
25	ウィークエンドふれあい広場事業	完全学校週五日制に対応した事業として、青少年相談員が中心となって、地域の子どもたちを対象に、風づくりや折り紙などの文化的制作・体験活動を行う。 (平成19年度まで、平成20年度より事業廃止。)	拡充	市内39中学区において、各学区の青少年相談員が中心となり、週末の子どもの居場所作りなどに対応する事業を、公民館等で合計43事業実施した。		青少年課
26	公民館完全学校週五日制対応事業(講座等)	完全学校週五日制の導入を契機とし、新たに学校休業日となった土曜日を中心に、児童生徒、一部その保護者とともに参加できる「体験型」の学習の場を提供する。それぞれの講座について、子どもたちのニーズにより対応したものになるよう、その充実を図る。	維持	完全学校週五日制対応事業として、土曜日におけるこどもを対象とした公民館主催事業及びクラブ等への参加を47公民館において実施。		生涯学習振興課
27	体育指導委員事業	小学校地区ごとに体育指導委員を委嘱し、子ども、高齢者を含む地域住民を対象としたレクリエーション・スポーツ活動の企画・運営・指導を行う。	維持	120小学校地区で体育行事(地区体育祭、地区スポーツ教室、バレーボール、グラウンドゴルフなど)を行った。		社会体育課
28	スポーツ施設管理事業(スポーツ広場等)	子ども、高齢者を含む地域住民が、気軽にスポーツ等に親しむ環境づくりを目指し、スポーツ広場・運動広場の管理運営を行う。	維持	スポーツ広場(2か所)、運動広場(21か所)の管理・運営を行った。		社会体育課
29	学校体育施設開放事業	スポーツの場の不足を解消するため、学校体育施設を開放し、市民の体力づくり及びコミュニティ活動の振興を図り、市民が手軽に多様なスポーツ・レクリエーションを行える場をつくる。	維持	小学校120校の校庭・体育館の開放、中学校56校の校庭・体育館の開放、中学校校庭夜間開放6施設、小・養護学校プール46施設の開放を実施した。		社会体育課
30	公民館整備	子ども対象の講座や市民のための各種講座を行うとともに、地域の拠点としての学習活動の場を提供する。	拡充	19年度は整備予定なし	×	生涯学習振興課
31	図書館整備	図書館資料の提供及び地域の拠点として学習活動の場を提供する。	拡充	19年度は整備予定なし	×	中央図書館管理課

3 個別事業の進捗状況

基本目標2 地域の「育児力」の向上

【進捗状況欄の意味】 …… 概ね実施した - …… 今後実施予定 × …… 19年度事業予定なし 終 …… 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
32	学校・家庭・地域連携まちづくり推進事業	学校・家庭・地域の三者が連携して、各地域の特色ある地域活動を推進することによって、子どもの地域に対する愛着をはぐくむ。	維持	花いっぱい活動、地域清掃活動等を56中学校区で実施した。地域参加者、保護者、児童生徒が参加。		指導課
33	保育所(園)地域活動事業	保育所の専門機能を活用し、世代間交流、異年齢交流、育児講座等を実施する。今後、実施保育所数の増等事業の拡充を図る。	拡充	グレース保育園・みらい保育園の開園により2か所増え、計92か所で実施した。		保育課
34	子育てフォーラム(仮称)の設置	地域における子育て支援の地域ネットワークの構築などを視野に入れ、地域に活動しているさまざまな団体、個人が、子育て支援の情報交換の場として集う。	新規	引き続き、モデル的にミニフォーラムを実施するとともに、新たに若葉区に設置した。(美浜区は、準備会の設置)		子ども家庭福祉課
35	地域保健推進員活動	地域保健推進員(市長委嘱のボランティア)が2か月児を訪問する。	維持	2か月児の家庭を、地域保健推進員174人で訪問し、母子保健サービスの紹介等を実施した。		子育て支援課
36	子どもや子育てに関する市職員の地域貢献活動	子ども・子育てに関する活動等の地域貢献活動に関するデータベースを作成し、庁内ネットワークを活用して、市職員に情報を提供して、活動への参加を促進する。	新規	調査、研究の実施	-	職員課
					-	子ども家庭福祉課
					-	生涯学習振興課
37	ファミリー・サポート・センター事業	子どもを預かってほしい会員に対して、育児を応援をしたい会員を紹介し、会員相互の援助活動を支援する。今後、事業内容の拡充を図る。	拡充	平成19年10月の「子育て支援館」の開設にあわせ、指定管理者によりファミリー・サポート・センター事業を行い、土日開館、火曜定休とした。		子育て支援課

3 個別事業の進捗状況

基本目標3 仕事と家庭の両立支援

【進捗状況欄の意味】 … 概ね実施した - … 今後実施予定 × … 19年度事業予定なし 終 … 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
38	保育所の整備等	保育所の新設 待機児童が多く見込まれる大規模開発地区等に保育所を新設する。 保育所の増改築 老朽化等による市立保育所・民間保育園の改築時に定員を増やす。 保育所の定員変更(定員増) 待機児童が発生し、又は発生が見込まれる保育所の定員を増やす。 保育所定員の弾力化 定員の弾力化(施設・設備等の基準を満たす範囲内で、定員を超えて保育を行う。)を継続して実施する。 公立保育所のあり方 保育所の整備を計画的に推進し、効率的な運営を図るため、民営化を含め、公立保育所のあり方を検討する	拡 充	グレース・みらい保育園の開園(各120人)及び定員変更(30人)による270人の定員増のほか、弾力化による受入れ児童の拡大を図った。		保育課
39	休日保育事業	日曜・祝日及び年末の保育需要に対応するため、休日の保育を認可保育所において実施する。	拡 充	グレース保育園・みらい保育園の開園により2か所増え、計3か所で実施した。		保育課
40	一時・特定保育事業	保護者の断続的・短時間就労等や疾病、冠婚葬祭等、または育児疲れ等の保育需要に対応するため、認可保育所において一時的に保育サービスを実施する。 【一時保育】 主に緊急・一時的利用(原則1か月当たり7日限度) 【特定保育】 パート就労等で継続的に利用(週2日または週3日)	拡 充	みらい保育園の開園により1か所増え、計18か所で実施した。		保育課
41	延長保育事業	保護者の勤務条件や家庭の事情などにより、通常の保育時間(午前7時から午後6時まで)を超えて保育を必要とする児童について、午後8時(一部の保育所は午後7時)まで保育を行う。現在午後7時まで実施している保育所については、午後8時までの時間延長を検討する。	拡 充	グレース保育園・みらい保育園の開園により、2時間延長が2か所増え、1時間延長(～19時)を46か所、2時間延長(～20時)を44か所で実施した。		保育課
42	産休明け保育事業	産休明けにより保育に欠けることとなる乳児について、指定する市立保育所・民間保育園において通常の保育時間の範囲内で保育を行う。	拡 充	グレース保育園・みらい保育園の開園により2か所増え、市立57か所、私立32か所で実施した。		保育課
43	障害児保育事業	障害を有する就学前児童で、保護者の就労等の事由により保育に欠ける者について、指定する市立保育所・民間保育園において健常児との集団保育を行う。	拡 充	グレース保育園・みらい保育園の開園により2か所増え、市立60か所、私立32か所で実施した。		保育課
44	夜間保育事業	夜間(おおそ午後10時まで)、保育に欠ける就学前児童の保育を行う。実施については、延長保育の利用状況等を調査する。	新 規	20時までの延長保育の利用率を調査し、実施の検討を行った。	-	保育課
45	保育所職員研修事業	保育の質の向上を図るため、専門的かつ高度な知識や技術を習得するための職種別研修を行う。	拡 充	派遣研修64回、部門研修50回を実施した。		保育課

3 個別事業の進捗状況

基本目標3 仕事と家庭の両立支援

【進捗状況欄の意味】 … 概ね実施した - … 今後実施予定 × … 19年度事業予定なし 終 … 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
46	保育所の第三者評価事業	保育の質の向上を図るため、第三者評価実施機関により保育内容を客観的に評価する。事業内容については、福祉サービス全般の第三者評価事業についての国・県の推進体制整備状況を踏まえる。	新規	実施に向けての検討を行った。	-	保育課
47	保育ママ事業	保育所に代わり有資格の「保育ママ」が自宅で少人数の保育を実施する。今後、保育ママの増を図る。	拡充	保育ママによる少人数保育を実施した。		保育課
48	乳幼児健康支援一時預かり事業	病気回復期にあるため保育所等に預けることができず、保護者が就労等により、家庭での育児が困難な児童を、診療所に併設した施設で保育を行う。	拡充	市内7か所の医療機関に委託し、実施した。		子育て支援課
49	保育ルーム助成事業	認可外保育施設のうち助成基準を満たし保育ルームと認定した施設に、保育に欠ける児童が入所した場合に、その保育料の軽減と保育の向上のため、入所児童数に応じて助成する。	拡充	助成施設数・児童数を拡大した。 助成施設46施設 対象児童 3歳未満児 6,564人、3歳以上児 5,187人		保育課
50	企業内保育所助成事業	企業内保育所に対する助成の充実を図る。	拡充	企業内保育所の開設・運営に伴う助成(1施設)を実施した。		保育課
51	私立幼稚園預り保育助成事業	幼稚園において延長保育を希望する人に対して、2時間程度の預かり保育を行う場合、保育にかかわる教材費の一部補助を行う。	拡充	私立幼稚園 78園に補助を実施した。		学事課

3 個別事業の進捗状況

基本目標3 仕事と家庭の両立支援

【進捗状況欄の意味】 … 概ね実施した - … 今後実施予定 × … 19年度事業予定なし 終 … 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
52	私立幼稚園の障害児保育助成事業	障害を持つ園児を受け入れている園に対して経費の一部補助について検討する。	新規	市内の幼稚園や他政令市を調査した。		学事課
53	総合施設の検討	国において検討が進められている就学前の教育と保育を一体として捉えた総合施設の導入について検討する。 総合施設 就学前の教育・保育を一体として捉え一貫して提供する施設。	新規	保育課、県と協議しながら、認定こども園に移行する幼稚園と連携を図った。		学事課
				認定こども園に関する本市の統一的な窓口としての事務を行った。		保育課
54	子育て支援連絡協議会(仮称)の設置	次世代育成支援を総合的・効果的に推進するための推進母体として、子育て支援連絡協議会(仮称)を設置する。民間企業、保育、教育、医療関係者などを構成メンバーとした協議会を設置し、市民等への各種情報の提供、各種イベント、シンポジウム等を通じて、次世代育成支援のための幅広い普及啓発活動を進める中で、市民の理解の醸成を図る。また、事業主における次世代育成支援などの取組みの普及・促進を図る。	新規	平成19年度中の設立に向け、引き続き、関係機関と協議を実施した。		子ども家庭福祉課
55	子育てにやさしい働き方を目指す企業に対する入札優遇制度	労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるようにするには、企業の自主的な取組みが不可欠である。その環境整備に積極的な企業に対して、市の入札制度の中で、契約上の優遇について検討する。	新規	入札制度等について検討を行った。	-	契約課
					-	男女共同参画課
					-	子ども家庭福祉課
56	男女共同参画優良事業者表彰	仕事と子育ての両立支援、性別に関わらず登用するなど、男女が共に働きやすい職場環境づくりをしている企業を表彰する。	維持	男女共同参画推進優良事業者2者の表彰		男女共同参画課
57	預けてゆっくりIT講習	託児つきのIT講習を実施し、子育て中の母親への学習機会を提供する。今後、受講生のニーズにより合わせた託児方法や、講座内容の充実を図る。	廃止	国の委託事業によるIT講習が終了したため、保育付きパソコン講習は実施せず。	終	生涯学習振興課
58	企業の社内研修等の場を活用した出前講座	結婚前の方や子育て中の方に、企業の社員研修等の場を活用して、「家庭教育講座」などの出前講座を実施するとともに、その場を活用して市の子育て支援に係る情報の提供を行う。	新規	出前講座等を通じ、各種子育て支援施策の情報を提供するとともに、子育て支援に対する意識の醸成を図った。		子ども家庭福祉課
59	父親の育児休業取得の推進	子育て支援連絡協議会等の場を活用して、事業主等に対して父親の育児休業取得促進や子育て期間中の勤務時間短縮などについての普及・啓発を行う。	新規	出前講座、子育て支援連絡協議会等を通じ、子育て支援の意識啓発を図るとともに、各種子育て支援施策の周知を図った。		子ども家庭福祉課

3 個別事業の進捗状況

基本目標3 仕事と家庭の両立支援

【進捗状況欄の意味】 … 概ね実施した - … 今後実施予定 × … 19年度事業予定なし 終 … 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
60	職場と家庭生活等との両立を支援する多様な制度の普及促進	育児休業や介護休業、子育て期の勤務時間短縮等措置など、家庭生活等との両立を支援する制度について情報誌等で情報提供を行う。	維持	情報誌「ハーモニーちば」の発行(年2回、各26,000部)		男女共同参画課
				「勤労市ニュース」を年2回、各2,500部、技能職ガイドブックを5,000部発行する。		勤労市民課
61	子育て支援関係事業における父親の育児参加奨励	地域子育て支援センター等において、父親の育児参加を促進する講座やイベントなどを実施する。	拡充	市内すべての地域子育て支援センター(7か所)及び子育て支援館で企画し、月1回程度実施した。		子育て支援課
62	男女共同参画推進啓発事業	ゆたかな男女共同参画社会を目指して講演会、情報誌発行などの啓発を行う。	維持	ハーモニー講演会、職員対象講演会(各1回)の開催、外国人向けDVD防止啓発リーフレット(26,000部)の作成		男女共同参画課
63	女性センター運営委託(調査研究事業・情報収集提供事業・研修学習事業・交流啓発事業・相談事業)	・専門のカウンセラーが「女性のための生き方相談」を電話又は面接で行う ・男女共同参画を進めるための調査・研究 ・男女共同参画に関連した様々な情報の収集と情報提供 ・男女共同参画の認識と理解を深めるための各種・講座・イベントの実施 ・団体などの交流・ネットワークなどの事業の実施	維持	調査研究2事業、研修学習事業59講座、女性センターまつり、女性フォーラムなどの実施		男女共同参画課
64	男女共同参画週間	男女共同参画社会の推進に向けての啓発、ポスターPRなどを12月に実施する。また、男女共同参画推進優良事業者表彰を行う。	維持	ポスター350部、啓発標語を印刷したクリアフォルダ2,000部の作成		男女共同参画課
65	男女共同参画社会の形成に影響を及ぼす苦情及び相談受付	男女共同参画施策についてのご意見・性に基づく人権侵害に対する被害者救済などについての相談を行う。	維持	苦情処理、相談の実施		男女共同参画課
66	就職サポート事業	就職者に職業適性や面接の対処方法、履歴書や職務経歴書の書き方指導などの個別指導を行う。	新規	セミナーを4回開催し、カウンセリングを203回実施。		勤労市民課

3 個別事業の進捗状況

基本目標4 子どもと母親の健康づくり

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
67	エンゼルヘルパ - 派遣事業	妊娠中、出産後4か月以内で昼間、介護者がいない核家族世帯等に、委託業者からヘルパーを派遣し家事及び育児に関するサービスを提供する。	維持	申請者にヘルパーを派遣し、家事及び育児を支援した。		子育て支援課
68	母乳哺育の推進	母乳哺育に関する啓発活動を推進する。新生児訪問を充実するなど、機会を捉えて母乳哺育の浸透を図る。また、母乳についての相談を実施するとともに、母乳哺育への支援・ケアを行う。	拡充	母親学級や新生児訪問において、母乳保育についての指導等を実施した。		子育て支援課
69	健康診査等（妊婦健康診査(B型肝炎検査・母子栄養強化・妊娠中毒症療養支援費含む)	妊娠期の健康管理を行うため、医療機関に委託し妊娠中に2回の健康診査を実施する。今後、受診率の向上を目指す。	拡充	妊婦一般健康診査を1人2回、医療機関委託で実施した。		子育て支援課
70	健康診査等（乳児、4か月児、1歳6か月児、3歳児健診等・子ども向け)	保健所・保健センター、指定・協力医療機関等において、各種健康診査を実施するとともに、保護者に対して各種相談・助言等を実施する。今後、受診率の向上を目指す。	拡充	乳児、4か月児、1歳6か月児及び3歳児の健康診査を、健診会場または医療機関委託で実施した。		子育て支援課
71	おかあさんとおなかの中でコンサート	出産を控えた女性が穏やかな気持ちで出産を迎えるためのイベントを開催する。	維持	出産を控えた女性対象のクラシックコンサートを12月に開催し、420人が参加した。		子育て支援課
72	育児サークルの支援	育児のための知識の普及と子育てのできる仲間づくりを目的とする育児サークルを支援。今後、事業内容の拡充を図る。	拡充	サークル支援のため保育士派遣、リーダー研修を6回（各区1回）実施した。		子育て支援課
73	母親＆父親学級	初妊婦及びその夫に対し保健師・栄養士・歯科衛生士・助産師が、保健、お産の準備、保育、父親の役割などをわかりやすく指導する。今後、事業の充実を図る。	拡充	各保健福祉センター・保健センターで、母親学級、父親学級を開催した。		子育て支援課
74	育児教室	集団の親子遊びを通して母親の育児不安を軽減し、積極的に育児に取り組めるようにする。	維持	各保健福祉センター・保健センターで開催した。		子育て支援課

3 個別事業の進捗状況

基本目標4 子どもと母親の健康づくり

【進捗状況欄の意味】

・・・ 概ね実施した

- ... 今後実施予定

× ... 19年度事業予定なし

終 ... 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
75	出産・育児の電話相談	保健センターに育児相談専用の直通電話を開設。出産する病院の情報、新生児の育児の相談を保健師が中心に実施する。（内容により助産師、管理栄養士、歯科衛生士に引き継ぐ。）	新規	保健センターで実施している相談業務と調整中	-	子育て支援課
76	妊産婦・新生児訪問指導	助産師、保健師が家庭を訪問し、相談指導を実施する。今後、内容の充実を図る。	拡充	乳児期早期、特に新生児期の把握のため、妊産婦訪問指導、新生児訪問指導を実施した。		子育て支援課
77	乳幼児歯科相談	乳幼児を対象に歯科衛生士が、個別に歯科相談を実施する。今後、会場数を増やすなど充実を図る。	拡充	保健福祉センター等を会場に、168回実施した。		健康企画課
78	小児肥満予防相談	3歳児健診にて肥満度15%以上の子どもを対象に栄養相談等を実施する。	維持	3歳児健康診査で肥満度15%以上の児童と保護者に対して、生活習慣、食習慣改善の相談を実施した。		子育て支援課
79	育児相談	乳幼児が心身共に健やかに発育をすることを目的に保健師・管理栄養士・歯科衛生士が相談を実施する。	維持	育児相談、2歳児相談、臨時健康相談を実施した。		子育て支援課
80	育児講座・母子講演会	母親学級受講者や乳児を持つ母親を対象に育児や疾病について医師が講演を行う。	維持	各保健福祉センター・保健センターで、年間計画に基づき実施するとともに、要望に応じて臨時で開催した。		子育て支援課
81	離乳食教室	咀嚼力を獲得するための発達に応じた調理形態及び食品の選択等について管理栄養士が支援する。	拡充	保健福祉センター等を会場に49回実施した。		健康企画課
82	パパママ子育て教習所	子どものこころの発達や接し方などについて、心理士が講演を行う。	維持	各保健福祉センター・保健センターで、18回(各区3回)開催した。		子育て支援課
83	2歳児虫歯予防教室	1歳6カ月児健診以降に急増する虫歯の予防を図るため、虫歯予防教室を実施する。今後、受講枠を増やすなど充実を図る。	拡充	保健福祉センターを会場に201回実施した。		健康企画課

3 個別事業の進捗状況

基本目標4 子どもと母親の健康づくり

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
84	小児ぜん息教室	疾病の理解、健康保持・増進を目的とした講演会とぜん息教室を実施する。	維持	保健所で、小児ぜん息教室を1回、保護者交流会を1回(毎月1回)開催した。		子育て支援課
85	不妊専門相談センター・特定不妊治療費助成	不妊に関する複雑な悩みに対し、専門的・医学的な相談・支援を行うため、不妊専門相談センターを設置する。また、不妊に悩む夫婦の経済的負担軽減を図るため、治療費の助成を行う。	維持	保健所で、不妊専門相談を12回実施した。また、特定不妊治療を受ける夫婦に対し、体外受精、顕微授精の費用の一部を助成した。(治療1回上限10万円、1年度2回まで、通算5年度まで)		子育て支援課
86	健康教育推進事業	性教育、薬物乱用防止教育等、心身の健康に重点をおいた健康教育を実施し(健康教育研究推進校を指定)、充実を図る。	拡充	研究校を指定し、健康教育の推進を図り、その取り組みを広く紹介し啓発した。(有吉小・源小・白井中)		保健体育課
87	各種検診検査事業	学校保健法に基づき、結核、心疾患、腎疾患、脊柱側弯症を始めとする各種検診検査を実施する。	維持	結核・心疾患・腎疾患・脊柱側弯症等の検査を実施した。		保健体育課
88	学校歯科事業	歯科衛生士による口腔衛生指導を実施する。また、市内2中学校区の学校において、歯科医による歯科啓発事業を実施し、内容の拡充を図る。 ・保健图画・ポスター表彰、8020運動普及及び標語の表彰を実施	拡充	市内3中学校区で歯科医による歯科啓発事業や、歯科衛生士による口腔衛生指導を実施した。(対象:小・中・特別支援学校)		保健体育課
89	小学校各種体育大会等事業	児童の体力の向上、体力づくりの日常化を促進するため、陸上、表現、球技の各種体育大会を開催する。	維持	表現運動発表会は学校代表1学級、球技大会はサッカー・バスケットボール各1チームが近隣校を1ブロックとし市内小学校を会場に実施した。陸上大会は市内を2ブロックに分け、青葉の森スポーツプラザ陸上競技場で実施した。		保健体育課
90	中学校運動部活動指導者派遣事業	運動部における専門的な指導を充実するため、派遣指導者が必要な学校に対し、教育委員会が指導者を派遣(年間)し、内容の拡充を図る。	拡充	市内中学校の運動部活動の振興を図るため、運動部における専門的な指導力を備えた派遣指導者を必要とする学校に対し、教育委員会が指導者を派遣(年間)し、内容の拡充を図った。(学校数:43校、派遣人数65人、種目数12種目)		保健体育課
91	中学校体育大会事業	スポーツに親しむ資質や能力を育て、体力の向上や健康増進のため市総合体育大会等を開催する。	維持	7月15日から24日にかけて、市総合体育大会を開催した。また、保護者の経費負担を軽減するために、市・県・関東・全国大会の選手派遣費を負担した。		保健体育課

3 個別事業の進捗状況

基本目標4 子どもと母親の健康づくり

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
92	学校体育行事等補助事業	児童生徒のスポーツへの関心喚起・意欲醸成のため、本市児童生徒が関わる各種体育大会経費を負担金として助成する。	維持	各種体育大会等を主管する市小中学校体育連盟、千葉県中学校総合体育大会、千葉市開催の関東中学校体育大会等の経費を負担金として助成した。		保健体育課
93	休日救急診療所管理運営事業	休日救急診療所を設置し、休日及び年末年始の初期診療を実施する。 ねたきり老人及び心身障害者(児)の歯科診療の実施。	維持	休日救急診療所の運営を保健医療事業団(指定管理)で実施した。		健康医療課
94	救急医療確保対策事業	救急医療に対する需要等に合わせ、休日、夜間の初期救急医療体制、二次救急医療体制の充実・強化を図る	拡充	休日・夜間の二次救急医療体制の確保等を保健医療事業団に委託し実施した。		健康医療課
95	小児慢性特定疾患治療研究事業	小児慢性疾患の治療研究事業を推進するとともに、患者家族の医療費の負担を軽減する。	維持	対象者の認定及び助成を行った。		子育て支援課
96	ぜんそく等小児指定疾患医療費助成事業	国の小児慢性特定疾患治療研究事業の対象とならないぜんそく患者等のうち、市の基準に該当する患者の健全な育成を図るとともに、患者家族の医療費の負担を軽減する。	新規	対象者の認定及び助成を行った。		子育て支援課
97	未熟児養育医療事業費	出生体重2,000g以下及び生活力が特に薄弱の児童を対象に入院養育が必要と認められた児童について医療費の一部を助成する。	維持	対象者の認定及び助成を行った。		子育て支援課

3 個別事業の進捗状況

基本目標4 子どもと母親の健康づくり

【進捗状況欄の意味】 …… 概ね実施した - …… 今後実施予定 × …… 19年度事業予定なし 終 …… 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
98	育成医療給付事業	身体に障害のある児童等に対し、手術等により障害の除去軽減ができる場合に、医療費の一部を助成する。	維持	対象者の認定及び助成を行った。		子育て支援課
99	健康づくり推進事業	地域食生活連絡会の実施	拡充	食育推進のためのネットワークを強化するため、保育所、学校、保健センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会を各区で実施し、食育の取り組みについての情報交換や、指導媒体の検討、普及献立の作成等を各区において年1～2回実施した。		健康企画課
		学校における食育指導（給食時間・総合的な学習の時間・家庭科、クラブ活動）を行っている。	拡充	年間指導計画に基づき、各学校の実態に合わせて、発達段階に応じた食に関する指導を行った。		保健体育課
100	食生活改善推進員による地域活動	からだで感じる食、みんなで楽しい食、料理を楽しむ食など、食を通して心と体を育てる食育の観点から、調理実習などの体験学習を保健センター等で行い、今後、実施回数を増やすなど充実を図る。	拡充	食生活改善推進員が子育てふれ愛フェスタにおいて、牛乳パックを使った「デコレーション寿司」の調理実習を行った。また、各区の保健福祉センターや公民館等で親子料理教室などの地域活動を実施した。		健康企画課
101	地域子育て支援センター、保育所地域活動における食育に関する講座等	地域子育て支援センター等の育児講座の中で、食育に関する講座等を実施する。	拡充	地域子育て支援センター事業、保育所(園)地域活動事業の一環として実施した。		子育て支援課 保育課
102	保育所における食育の推進	野菜の栽培・収穫体験や調理にかかわる体験などを通して食育の推進を図る。体験回数を増やすほか、地域の特性を生かした保育所の食育を研究し推進する。	拡充	野菜の栽培・収穫・調理体験活動のほか、職員研修・食育ホームページの充実のほか市民向け食育講座の開催を行った。		保育課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
103	子育ての手引き配布(家庭教育資料作成事業)	小・中学校入学時の保護者及び小学校5年生の保護者に、子育て支援の一環として子育ての手引を配布する。	維持	27,400部を発行した。 (内訳)「小学生ですよ」10,100部「高学年ですよ」9,300部「中学生ですよ」8,000部		青少年課
104	家庭教育支援総合推進事業 (1)幼稚園子育て講座 (2)父親の家庭教育を考える集い	(1)子育て支援を目指し、幼稚園入園時等の保護者を対象に、子どものしつけなどの家庭教育のあり方を見つめ直してもらうための講座を実施する。今後も全幼稚園を対象に取り組む。 (2)小・中学校の父親の会に対し、子育て講座の開催や、情報交換会など、家庭教育のあり方を見つめ直す支援を行う。今後は、指定校の拡充を図るとともに、市レベルでの情報交換会を検討する。	維持	親父の家庭教育を考える集いとして「おやじの会」に活動費支援(13校実施)		生涯学習振興課
105	教育広報紙「教育だよりちば」の発行	年5回、児童生徒の家庭へ配布、公共施設での配布により、本市の教育施策等に関する情報を提供する。	維持	4月に115,000部 6・10・12・2月に各87,500部発行した。		教育委員会企画課
106	家庭教育手帳の発行事業	「ドキドキ子育て」(乳幼児用)、「ワクワク子育て」(低学年～中学用)を配布し、子育て支援を図り、家庭の教育力の向上に資する。今後も継続して実施する。	維持	冊子を配布		生涯学習振興課
107	公民館「家庭教育」啓発事業	家庭の教育力の向上を図るため、学習講座を開催するとともに、内容の充実を図る。	維持	「家庭教育」に関する事業を47公民館において実施。		生涯学習振興課
108	子育て学習講座	小学校就学時の保護者に対して、子どものしつけなど家庭教育のあり方を見つめ直してもらうため、子育てに関する講座を実施する。中学校入学の子どもを持つ親に対しては、思春期の子どもの問題行動等をテーマとした、子育て等に関する講座を実施する。今後とも、両講座の内容の充実等を図る。	維持	千葉市家庭教育推進協議会2回実施		生涯学習振興課
109	子育て支援イベント事業(子育てふれ愛フェスタ)	少子化問題及び子育て支援の必要性について広報・啓発を行うため、多様な世代が参加できるステージイベント等を実施する。	維持	主に乳幼児とその保護者を対象として事業を実施し、各種子育て支援施策の周知及び子育て支援の市民意識の醸成を図った。		子ども家庭福祉課
110	ファミリーブックタイム運動の推進	家族で読書を楽しむ時間をつくるよう呼びかけるなど情報提供、啓発を行う。	維持	親が子に読み聞かせたり、家族で読書に親しんだりする時間をつくるよう、呼びかけるためのリーフレット等を配布する		中央図書館管理課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】

・・・ 概ね実施した

- ... 今後実施予定

× ... 19年度事業予定なし

終 ... 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
111	思春期保健対策事業(ふれあい体験学習・中学生向け)	生命の尊厳について学び、父性母性の涵養を図ることを目的とし赤ちゃんふれあい体験学習を実施する。	維持	中学生を対象に、3コース、6回開催した。		子育て支援課
112	思春期教室	思春期の子ども及びその保護者等に対して思春期の心とからだの発達と特徴、その対応について知識の普及・相談を実施し、今後、内容の充実を図る。	拡充	各保健福祉センター・保健センターで、思春期の子を持つ親に対し講演会を18回開催した。		子育て支援課
113	ブックスタートの検討	絵本を通じて親子のふれあいやきずなを深める「ブックスタート」を検討する。	新規	保健福祉センターの4か月健康診査会場において、読み聞かせボランティアの協力を得て、モデル的に、絵本の読み聞かせを53回実施した。		子育て支援課
114	学校評議員制度	地域ぐるみの教育の成果を生かすとともに、学校・家庭・地域の三者連携を生かした開かれた学校づくりを推進する。	維持	学校評議員制度が継続され、評議員会等を通じ、学校運営等に関して、学校と地域の情報交換や連携が一層図られ、開かれた学校づくりが推進された。		学事課
115	二学期制の推進	学校二学期制の実施により、家庭・地域との連携、教育課程の工夫・改善、きめ細かな指導など、「ゆとり」の中で特色ある学校づくりを推進する。	拡充	「ゆとり」の中での教育活動の推進に向けた、二学期制が継続された。		学事課
				各学校において、教育課程の工夫・改善、授業時数の確保、きめ細かな指導など、特色ある学校づくりを推進した。		指導課
116	少人数指導教員配置事業	生活指導や基礎・基本的な学習内容の確実な定着を図るなど、教科の特性に応じたきめ細かな指導を行うための少人数指導(非常勤講師配置)	維持	小学校に39人配置した。		教職員課
117	ボランティア教育推進事業	実施校にボランティア教育推進委員会を設置し、活動を推進する中で、ボランティア精神の基礎を養う。	維持	「ボランティア教育推進校」に指定した7中学校で事業を実施した。		指導課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】

・・・概ね実施した

-・・・今後実施予定

×・・・19年度事業予定なし

終・・・終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
118	夢広がる学校づくり推進事業(楽しい教室づくり)	優れた知識・技能を有する社会人を学校教育に活用することにより、多様な教育活動を展開し、児童生徒の社会性や学ぶ意欲の向上を図る。	維持	「楽しい教室づくり」を小学校50校、中学校12校、計62校で実施した。		指導課
119	特色ある学校づくりの推進	各学校の自主性・自律性の確立のため、学校の裁量で執行可能な予算措置の拡大を図ることにより、地域の実情に応じた総合的な学習や体験的な学習など、各学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動の積極的な支援を行う。	拡充	各学校の特色ある学校づくりのため、1校平均3,000千円の支援をした。		学校財務課
				各学校において、教育課程等を工夫し、特色ある学校づくりを行った。		指導課
120	小学校英語活動推進事業	英語を母語とする外国人を、教員の補助者として配置し、市内全小学校5・6年生を対象に、英語活動を行う。今後は、対象学年の拡充を目指す。	拡充	英語を母語とする外国人講師を配置し、市内全小学校の5・6年生を対象に英語活動を実施した。		指導課
121	外国人児童生徒指導協力員派遣事業	日本語指導の必要な外国人児童・生徒の在籍校に指導協力員を派遣し、個別指導やグループ指導を実施する。	維持	日本語指導の必要な外国人児童・生徒の在籍校に、9名の外国人児童生徒指導協力員を派遣し、個別指導やグループ指導を実施した。		指導課
122	市立千葉高等学校海外・国内科学技術研修事業	理数科の特色を生かした授業の一環として、自然の事物・現象に対する関心を高め、科学的に探求する態度、能力及び豊かな国際性を養うことを目的に、1年次は国内(伊豆大島)、2年次は海外(アメリカ合衆国)において科学技術研修を実施する。	維持	1年生は国内(伊豆大島)で2泊3日、2年生はアメリカ合衆国ヨセミテ国立公園他で9泊10日の日程で実施した。		千葉高等学校
123	音楽関係中央大会派遣事業	関東大会、東日本大会、全国大会等の関東大会以上の大会出場に係わる、児童生徒の交通費、宿泊費、楽器運送費、練習会場費、参加費等を補助する。	維持	小学校1校(菅田東小)、中学校2校(土気中3回、貝塚中2回)の大会出場に係わる費用の補助を行った。		指導課
124	学校訪問おはなし会	地区図書館では、小学校等を訪問し、在籍の児童を対象にブックトークを行うなど、子どもたちが本に親しむためのきっかけづくりの場を提供する。	維持	78回 2626人		中央図書館 情報資料課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
125	特別非常勤講師配置事業	各分野で優れた知識や技術を有する社会人を、小・中学校に派遣し、児童生徒の個性を生かす多様な教育の一層の充実を図る。	拡 充	配置状況 小学校7校(音楽)、中学校2校(国語、数学)で実施した。		指導課
126	外国青年招致事業	中学校、高等学校に外国語指導助手(ALT:日本人英語教師との協同授業を業務とする)を配置する。今後は、ALTの増員を目指し、中学校、高等学校への派遣日数の増加を図る。	拡 充	市立の中・高等学校へ外国語指導助手19名を配置し、協同授業を行った。		指導課
127	学校図書館充実推進事業	全小学校に学校図書館指導員を週3日配置し、中学校においては学区の小学校から週1回巡回して指導を行う。学校図書館指導員は、図書の整理・環境整備、児童生徒の読書相談対応、読み聞かせ活動等の業務を行う。また、読書センターの機能に加え、学習・情報センター機能を学校図書館に付加するため、児童生徒個々の課題に応じた図書の充実に努める。今後は、学校図書館指導員の資質向上を図るとともに、小・中学校における指導内容や方法の一層の充実を目指す。	拡 充	全小学校に図書館指導員を配置し、図書の整理・環境整備、児童生徒の読書相談、読み聞かせ活動等を行うとともに、図書の充実を図った。		指導課
128	姉妹友好都市交流事業	海外の同等校と姉妹校、交流校の提携を結んで相手校の児童生徒の作品、手紙の交換等を行う。	維 持	海外の同等校と姉妹校、交流校の提携を結んで交流を実施し、相手校の児童生徒と作品、手紙の交換等を行った。		指導課
129	外国人児童生徒指導教室運営事業	専任教員を配置し、外国人児童の日本語の習得や、学校生活への適応を図る。	維 持	専任教員を配置し、外国人児童の日本語の習得や、学校生活への適応を図った。 配置校小学校2校、対象児童47名。		指導課
130	高等学校校舎等改築事業(市立千葉高等学校)	老朽化した高等学校の建て替えを実施し、平成21年4月の供用開始を目指す。	拡 充	校舎等改築工事、電気設備工事、給排水設備工事、外構工事、植栽工事などを実施した。		学校施設課
131	小学校新設校建設事業	宅地開発に伴う児童数の増加による学校の過大規模化の解消を図るため、新設校を建設する。	拡 充	19年度は整備予定なし	×	学校施設課
132	小学校施設老朽化対策事業(中学校施設老朽化対策事業)	学校施設が安全かつ正常に機能するよう、施設の老朽化した建物や設備を計画的に改修する。内部・外部の大規模改修工事、プール付属屋の改築工事、各種修繕工事、高圧ケーブル改修工事、給水施設改修工事等を行う。	拡 充	外部改修工事(中1校)、各種修繕工事などを実施した。		学校施設課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】

・・・概ね実施した

-・・・今後実施予定

×・・・19年度事業予定なし

終・・・終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
133	小学校施設機能向上事業(中学校施設機能向上事業)	学校間の教室環境格差をなくすため、小・中学校の余裕教室を利用してコンピュータ室、特殊学級教室、通級指導教室、保健室、読書多目的室、心の教室に改修する。	拡 充	通級指導教室改修(小1校)に係る都市整備公社事務費		学校施設課
134	小学校屋内運動場改築事業(中学校屋内運動場改築事業)	屋内運動場の安全性を確保するため、老朽化した屋内運動場の改築工事を実施する。	拡 充	屋内運動場の耐震化整備手法を改築から補強へと見直し、平成20年度より補強事業に着手する。	-	学校施設課
135	私立高等学校等教育設備整備事業	私立高等学校、専修・各種学校の教育設備備品の購入費の一部について補助することにより、私立高等学校、専修・各種学校の教育条件の維持向上及び保護者の経済的負担を軽減する。	維 持	私立高校8法人 専修・各種学校8法人に補助をした。		学事課
136	小学校特殊学級運営事業(特別支援学級)	小学校特殊学級(特別支援学級)に在籍する児童が使用する備品等の購入を進め、障害のある児童の学校生活の充実を図る。	維 持	障害のある児童の学校生活の充実を図るため、45校の特殊学級(特別支援学級)で使用する備品等の購入を実施した。		指導課
137	中学校特殊学級運営事業(特別支援学級)	中学校特殊学級(特別支援学級)に在籍する生徒が使用する備品等の購入を進め、障害のある生徒の学校生活の充実を図る。	維 持	障害のある生徒の学校生活の充実を図るため、18校の特殊学級(特別支援学級)で使用する備品等の購入を実施した。		指導課
138	養護学校野外活動事業(他事業と統合)	県内公立集団宿泊施設を利用し、教育活動の一環(特別活動の学校行事)として、野外活動を実施する。	維 持	17年度にNo.157長柄げんきキャンプに統合	終	保健体育課
139	養護学校特殊(特別支援)教育振興事業	産業現場等の実習に際し、受入事業所での円滑な実習を図る。今後は、受入事業所の拡大を目指すとともに、実習内容の一層の充実を図る。	維 持	市立養護学校において、産業現場等の実習を実施した。		指導課
140	要保護・準要保護児童生徒給食費等扶助費	給食費及び補助対象となる疾病の治療費を援助し、児童生徒の健康の保持増進を図る。	維 持	要保護・準要保護児童生徒の保護者に対し、給食費及び補助対象となる疾病の治療費を扶助した。		保健体育課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】

・・・概ね実施した

-・・・今後実施予定

×・・・19年度事業予定なし

終・・・終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
141	要保護・準要保護児童生徒学用品費等 扶助事業	学用品費、修学旅行費、その他就学に必要な経費を援助することにより、児童生徒の学校生活を円滑なものとする。	維持	要保護・準要保護児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、その他就学に必要な経費を援助した。		学事課
142	高等学校育英資金事業	生徒1人あたり月額10,000円(年額12万円)を支給する。(入学説明会時に説明、申込み受付、審査、決定、支給)	維持	生徒42人(内途中認定3人)に支給した。		千葉高等学校 稲毛高等学校
143	定時制・通信制教育振興会補助事業	定時制・通信制高等学校の諸会費負担金などについて補助することにより、勤労青年の経済的負担を軽減する。	維持	定時制 3校 通信制 1校に補助を実施した。		学事課
144	特殊教育児童生徒学校給食費扶助事業	給食費の援助(1/2)を行う。	維持	特殊教育児童生徒の保護者に対し、給食費の扶助(1/2)を行った。		保健体育課
145	特殊教育児童生徒学用品等扶助事業	学用品費、修学旅行費、その他就学に必要な経費を援助することにより、児童生徒の学校生活を円滑なものとする。	維持	特別支援学級に在級・通級している児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、その他就学に必要な経費を援助した。		学事課
146	教育情報誌発行事業	特別支援教育の今日的課題についての啓発のために「養護教育センターだより」を年4回(年2回に変更)発行・配布する。特別支援教育の理解推進のために「特別支援教育リーフレット」を年1回発行・配布する。	維持	養護教育センターだより年2回発行(各5,000部)し、配布した。 教育相談案内リーフレット(25,000部)・特別支援教育ガイドブック(5,500部)を作成し、配布した。		養護教育センター
147	適応指導教室管理運営事業	適応指導教室(ライトポート花見川他)での活動を通じて、自宅等で引きこもり状態の解消や不登校児童生徒の学校生活への復帰を支援する。	拡充	ライトポート花見川・若葉・中央に93名通級し、内13名が学校に完全復帰した。		教育センター
148	教育相談指導教室事業	個別相談指導、小集団活動、通常学級との交流を通して、生活習慣の確立や対人関係の改善を図り、原籍校への復帰を支援する。	維持	個別相談指導、小集団活動、通常学級との交流を通して、生活習慣の確立や対人関係の改善を図り、原籍校への復帰を支援した。		指導課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】

・・・ 概ね実施した

- ... 今後実施予定

× ... 19年度事業予定なし

終 ... 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
149	スクールカウンセラー活用事業	いじめや不登校などに対応するため、中学校にスクールカウンセラーを配置し、中学校区の児童生徒、その保護者、教職員からの悩み等の相談にあたる。	拡 充	全中学校57校に配置		指導課
150	子どもと親の相談員活用事業	小学校に「子どもと親の相談員」を配置し、保護者と連携しながら、不登校や問題行動などの未然防止・早期発見・早期対応に努める。	維 持	小学校2校に配置		指導課
151	教育相談長欠対策事業	いじめや不登校の問題について電話相談や家庭訪問等を通し、その解消に向けて学校と連携を図りながら、指導援助に努める。	維 持	不登校・いじめ等の悩みを持つ児童生徒・保護者からの電話相談対応とともに、小中学校約40校を訪問し、具体的な対応の在り方について指導・助言を行った。		指導課
						教育センター
152	心の教室(カウンセリングルーム)整備	生徒の悩み・不安の相談やストレスを和らげる環境を提供するため、中学校にカウンセリングルームを整備する。	拡 充	改築予定校(2校)及び余裕教室がない学校(4校)は、未整備になっているため、改築工事時や余裕教室発生時に整備する。	-	学校施設課
153	教育相談運営事業	指導主事・嘱託職員による来所相談、電話相談、訪問相談及び精神科医による医療相談、グループ活動(不登校児童生徒への適応指導)。広報活動(学校を通じてリーフレット等を保護者、教職員に配布)。	維 持	児童・生徒・保護者教職員に対して、来所相談・電話相談・訪問相談・医療相談を通して様々な悩みに対応した。適応指導、グループ活動を設定した。保護者向けのリーフレットを作成し配布した。		教育センター
154	特別支援教育体制推進事業	小・中学校におけるLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等を含めた障害のある児童生徒への支援体制を推進するための特別支援教育指導員の配置、学校訪問相談員の派遣を継続する。	拡 充	特別支援教育指導員16名を32校に配置した。学校訪問相談員2名を12月末現在で108校に派遣した。		養護教育センター
155	農山村留学推進事業	県内や長野県の農山村等に宿泊し、自然体験活動を行うとともに地元の小学生や地域住民との交流を図る。地域の特色を生かした農林漁業等の体験活動を取り入れるなど、事業内容の一層の充実を目指す。	拡 充	千葉県少年自然の家1,230名 県内青年の家 5,860名 長野県 1,030名が参加		指導課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】

・・・ 概ね実施した

- ... 今後実施予定

× ... 19年度事業予定なし

終 ... 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
156	移動教室	千葉市少年自然の家を利用した自然体験等を通して、子どもの自主性や社会性、豊かな心の育成を図る。	維持	千葉市全小学校の5年生8,560名が千葉市少年自然の家で移動教室を実施した。		指導課
157	長柄げんきキャンプ	他校との合同宿泊学習を通して、基本的な生活習慣を身に付け、社会性を高める。	維持	千葉市少年自然の家での宿泊体験を複数の学校と合同で実施した。(小中特別支援58校)		指導課
158	長柄ジョイントキャンプ	豊かな自然環境の中で、様々な体験活動を通して自主性・社会性をはぐくみ、学校復帰を促す。	維持	千葉市少年自然の家で、10月に35名、1月に22名の児童生徒が参加し、2泊3日のキャンプを実施した。		教育センター
159	長柄ハッピーキャンプ	集団生活を通して社会性を向上させ、通常学級での適応力を高める	維持	少年自然の家2泊3日 参加児童25人で実施した。		養護教育センター
160	こども科学館(仮称)整備事業	子どもたちの探究心向上と創造力育成のための参加体験型「こども科学館」(仮称)の整備を図る。名称「科学館」	新規	平成19年10月「千葉市科学館」開設		指導課
				科学館ボランティア養成29名		生涯学習振興課
161	ふれあいパスポート事業	市内施設を土曜日に無料(一部有料)で利用できるパスポートを配布する。	維持	市内在住・在学の児童生徒に配布した。 カード及びリーフレット: 各88,000部		教育委員会企画課
162	芸術文化鑑賞事業	千葉市青少年ミュージカルを実施する。	維持	青少年の参加によるミュージカル公演(2公演、隔年開催)		文化振興課
		小・中学校音楽鑑賞教室、小・中学生のためのオーケストラコンサートを実施する。	維持	小・中学校音楽鑑賞教室公演委託(20公演)、小・中学生と保護者を対象とするオーケストラコンサート(4公演)		指導課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
163	南部児童文化センター事業	各種講座の開催、少年団体育成、活動の場の提供等、子どもたちを中心とした利用者のニーズに適合した事業を推進する。今後とも、各種講座や活動の場等の充実を図る。	維持	各種講座の開催、少年団体育成、活動の場の提供等、子どもたちを中心とした利用者のニーズに適合した事業を推進。		生涯学習振興課
164	少年少女科学クラブ	講師の指導による科学工夫工作の活動を通じ、科学的なものの考え方や豊かな想像力を育成する。「千葉市科学館」の教育普及事業として実施する。	維持	小学4年生から中学2年生を対象に科学工作等を実施(11回)		生涯学習振興課
165	アストロクラブ	講師の指導により、天体望遠鏡の製作と天体観測等を行う。「千葉市科学館」の教育事業として実施する。	維持	小学5・6年生を対象に天文に関する講座を実施(7回)		生涯学習振興課
166	少年自然の家運営事業	子どもたちによる生活体験、自然体験、共同宿泊体験等の教育的体験活動を行う。	新規	PFI事業として、民間事業者による施設の維持管理や主催事業の実施等事業運営を行った。 利用者数:75,274名		青少年課
167	自然教室推進事業	高原千葉村で3泊4日の体験活動を実施する。	維持	市立中学校全56校の2年生が高原千葉村で豊かな自然をあじわいながら規律ある集団宿泊生活をし、体験活動を実施した。		保健体育課
168	青少年海外ふれあいセミナー (青少年ふれあいセミナーへ変更)	青年会議所との共催により、フィリピン共和国ケソン市へ子どもたちを派遣、交流を行ったり、また、国内で様々な自然体験活動を行い、子どもたちの健全育成に寄与する。予算面では一部に負担金を支出する。	維持	小学4～6年生を対象に、2泊3日の宿泊体験事業を千葉青年会議所との共催により実施した。 宿泊場所:県立大房岬少年自然の家、無人島「浮島」		青少年課
169	青少年及び青少年指導者海外派遣事業 (事業終了)	青少年及び青少年指導者を海外に派遣し、青少年関連施設を訪問したり、交流を図ることで、国際的視野を広めるとともに青少年の健全育成に役立てる。	維持	事業終了	終	青少年課
170	子ども図書館たんけん隊	普段見ることのできない自動出納書庫等の図書館施設の見学を行う。(夏休み中)	維持	4回 73人		中央図書館 情報資料課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
171	定例おはなし会	素話・本の読み聞かせ・手遊び等を行う。	維持	全館で実施 725回 10355人		中央図書館 情報資料課
172	こども一日図書館員	地区図書館の裁量により、「子ども一日図書館員」として職場体験を行う。	維持	8回 101人		中央図書館 情報資料課
173	かるた会・こども読書会他	地区図書館においては、ニーズ等に応じ、子ども向けの各種事業を展開する。 ('子ども読書会」「子ども映画会」「科学で遊ぼう」など)	維持	20回 1009人		中央図書館 情報資料課
174	子ども読書の日記念・夏・冬の親子おはなし会	親子を対象に、絵本の読み聞かせや、パネルシアターなどを行う。	維持	64回 1524人		中央図書館 情報資料課
175	わらべうたと絵本の会	わらべうたと手遊び、絵本の読み聞かせを行う。	新規	29回 877人		中央図書館 情報資料課
176	外国語おはなし会	外国人等の親子を対象に、原語で絵本の読み聞かせを行う。	新規	2回 60人		中央図書館 情報資料課
177	地域おはなしボランティア養成講座	図書館のおはなしボランティアとして活動するために、読み聞かせ等の手法を学ぶ。	維持	初級・中級・上級 27人受講終了		中央図書館 情報資料課
178	親子で楽しむ絵本講座	地区図書館においては、わらべうたや手遊びを通して、絵本との出会いの場を提供する。	維持	地区図書館で 9回 297人		中央図書館 情報資料課
179	子どもが語るおはなし会	中学生や高校生が、絵本の読み聞かせを行う。	新規	12回 253人		中央図書館 情報資料課

3 個別事業の進捗状況

基本目標5 次代を担う人間をはぐくむ教育の充実

【進捗状況欄の意味】 …… 概ね実施した - …… 今後実施予定 × …… 19年度事業予定なし 終 …… 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
180	子ども読書まつり	年齢別おはなし会、外国語おはなし会、本に関するクイズやパズル等を総合的に実施する。	新規	中央館・地区図書館・12分館 8回 3479人		中央図書館 情報資料課
181	私立幼稚園教材費助成事業補助金	私立幼稚園の教材費の一部を補助することにより、教育条件の維持向上及び保護者負担の軽減を図る。	拡 充	園割 490,000円、園児割 2,000円の補助を実施した。		学事課
182	幼保小関連教育推進事業	近隣の幼稚園・保育所(園)・小学校間の交流を通して、幼児教育から小学校教育の円滑な接続を図る。	維持	H18年度で終了	終	学事課
				各校で実践した交流活動の実際を冊子にまとめ、市内小学校・幼稚園・保育園等に配布した。		指導課
183	幼稚園教諭の研修の充実	幼稚園教諭に対する研修を支援する。	維持	幼稚園の研修事業等に対し補助を実施した。		学事課
				H17.3千葉市立土気幼稚園の廃止により17年度で終了。	終	指導課
184	幼児教育支援センター事業	教育委員会等内に保育カウンセラー等からなる幼児教育のサポートチームを設置し、地域の関係機関と連携を図り、幼稚園、保護者、家族等を支援することについて検討する。	新規	H18年度で終了	終	学事課
				幼児教育プログラムを15プログラム開発した。また、事例検討会は幼小の教諭131名が参加、講演会は保護者を中心に53名が参加、総合巡回相談は30件について実施した。		教育センター

3 個別事業の進捗状況

基本目標6 子育て家庭にやさしいまちづくり

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
185	交通安全施設整備	高齢者、障害者、妊産婦をはじめ市民にやさしいまちづくりを進めるため、千葉市交通バリアフリー基本構想で定められた重点整備地区(市内16地区)において、道路特定事業計画に沿って、道路標識・段差解消・道路照明・誘導ブロックなどを整備し平成22年度を目途にバリアフリー化を推進する。	拡 充	歩道の改良(段差解消、視覚障害者誘導用ブロック)		維持管理課
186	鉄道駅舎昇降装置の整備(鉄道・モノレール駅舎のエレベーター等整備)	高齢者、障害者、妊産婦等の鉄軌道利用の安全・円滑化を図るため、駅舎内外の昇降装置の整備、整備費補助を行う。	拡 充	JR検見川浜駅(エレベーター3基)、JR千葉みなと駅(エレベーター2基)、JR本千葉駅(エレベーター1基)、モノ動物公園駅(エレベーター4基)、モノ天台駅(エレベーター2基)、モノスポーツセンター駅(エレベーター1基)の整備を実施した。		交通政策課
187	自転車駐車場事業	自転車駐車場の整備及び維持管理を行う。	維 持	千葉駅、蘇我駅などの駅周辺に自転車駐車場整備するとともに、海浜幕張駅第1・検見川浜駅第1に自転車駐車場自動ゲート整備した。		自転車対策課
188	放置自転車対策事業	駅周辺の放置自転車を撤去し、安全な歩行空間を確保する	維 持	自転車等の放置防止、放置自転車の撤去、自転車利用者への啓発などを実施した。		自転車対策課
189	公共施設における子育てバリアフリー化	本庁・各区役所において、乳幼児と一緒に安心して利用できるトイレやベビーベット、授乳室、キッズコーナー等の設置を計画的に行う。	新 規	花見川区役所 ベビーキープ1台設置(障害者用トイレ改修)		職員課
				各施設において計画的に実施する。		子ども家庭福祉課
190	子どもたちの森整備事業	子どもたちが自然の中で自分の責任でのびのびと自由に遊べる場を整備し開設した。	維 持	プレーパークとして週5日開設した。		緑政課
191	市民の森保全	土地所有者と契約し、自然と身近に触れ合える憩いの場として開放している。今後市民緑地制度への移行を検討する。	拡 充	市民の憩いの散策の場として、引き続き15か所を開設した。		緑政課
192	街区公園整備	子どもたちがのびのびと遊べる場を整備する。(誘致距離250m 0.25%)	拡 充	基本・実施設計: 検見川稲毛2号公園(仮称)、村田川第2公園(仮称) 施設整備: 山王まつかぜ公園、そが野ハッピー公園		公園建設課

3 個別事業の進捗状況

基本目標6 子育て家庭にやさしいまちづくり

【進捗状況欄の意味】 …… 概ね実施した - …… 今後実施予定 × …… 19年度事業予定なし 終 …… 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
193	近隣公園整備	子どもたちがのびのびと遊べる場を整備する。(誘致距離500m 2ヶ所)	拡 充	19年度は整備予定なし	×	公園建設課
194	地区公園整備	子どもたちがのびのびと遊べる場を整備する。(誘致距離1km 4ヶ所)	拡 充	施設整備:宮野木中央公園	-	公園建設課
195	子育て支援のための団地集会所等の活用	周辺地域の子どもの遊び場や育児サークルなどの活動の場として、市営住宅の団地の集会所等を活用できるよう検討する。	新 規	広域集会所を持つ4団地のみ、自治会活動に支障のない範囲で可能		住宅政策課
						住宅整備課
196	公園施設維持管理事業(中央・稲毛・花見川・美浜・緑・若葉) 公園施設維持管理事業	公園に設置している遊具や遊び場について、市民・子どもが安全に快適に利用できるよう巡回を行うなど、その管理に努める。	維 持	市内1,094か所の公園の維持管理を行った。		公園管理課
197	公園緑地事務所事業(中央・稲毛・花見川・美浜・緑・若葉) 公園施設維持管理事業	誰もが安心して利用できるよう公園内の清掃・除草等を行うなど、その管理に努める。	維 持	435か所の公園において、279の清掃協力団体による園内清掃を行った。		公園管理課
198	若年世帯(子育て世帯)の居住支援	特定優良賃貸住宅の入居収入基準の下限の緩和を行い入居しやすくする。(H14.4.1より)	維 持	入居収入基準の下限緩和を継続し、入居しやすくした。		住宅政策課
		特定優良賃貸住宅の一部を市営住宅として借上げ、若年世帯の入居を支援する。	維 持	3団地の一部(66戸)を、若年世帯向けに市営住宅として借上げ、若年世帯の入居を支援する。(フローラ稲毛 45戸、プラザ園生 13戸、メゾン・グリーンリーフ 8戸、計 66戸)		住宅整備課
199	子育てに関する情報を含めた住情報の提供	子育て家庭の住まい選びなどに際して必要な子育てに関する情報を、住まいに関する情報と併せて提供することができるよう「すまいアップコーナー」におけるサービスの拡充とホームページの内容の充実を図る。	新 規	市民からの問い合わせに応じて、公営住宅の母子家庭優遇申し込についての情報提供を行った。		住宅政策課

3 個別事業の進捗状況

基本目標7 支援が必要な子どもと家庭への対応

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計 画 事 業 名	事 業 内 容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
200	障害児(者)地域療育等支援事業 (障害児等療育支援事業)	障害児(者)施設の有する機能を活用し、地域での生活支援及び療育、相談体制の充実を図るとともに、各種福祉サービスの提供、援助調整等を行う。	維持	訪問療育相談事業 238件、訪問健康診査等事業 3件、外来療育相談事業 342件、施設支援一般指導事業 11件		障害者自立支援課
201	心身障害児居宅生活支援費 障害者自立支援介護給付 (障害児の福祉サービス)	障害者(児)の日常生活の支援等のサービスを提供する。	拡 充	障害者自立支援給付の介護給付(居宅介護、行動援護、児童デイサービス、短期入所及び重度障害者等包括支援)、及び地域生活支援給付(移動支援及び日中一時支援)として障害児も含め実施する。		障害者自立支援課
202	心身障害者(児)施設管理運営経費	心身障害児総合通園センターの管理運営を社会福祉事業団に委託	維持	心身障害児総合通園センターの管理運営を社会福祉事業団に委託し、実施した。		障害企画課
203	心身障害児施設への入所	心身障害児を施設に入通所させて、これを保護するとともに、将来にわたって必要な療育・訓練(一部施設では療養)を行う。	維持	延1,163人へ支出		障害者自立支援課
204	心身障害児施設地域療育事業 (障害者福祉措置)	やむを得ない理由により、一時的に保護が必要な場合に、施設等に短期入所措置し保護する。	維持	障害者福祉措置制度として、障害児も含め実施している。		障害者自立支援課
205	重症心身障害児(者)通園事業	重症心身障害児(者)に対し、通園の方法により日常生活動作、運動機能等に係る訓練、指導等必要な療育を行うとともに、保護者等にも療育技術を習得してもらう。	維持	本市実施主体「さいわい」及び千葉県実施主体「下志津病院」の2施設へ委託料支出		障害者自立支援課
206	トライプラリー	心身障害児が、おもちゃを通じて遊ぶことにより、機能回復及び能力発達を促進する。	維持	(社)千葉市手をつなぐ育成会に事業を委託し、障害児の療育のためのおもちゃの貸し出しを実施。利用者数165名		障害者自立支援課
207	重度障害児(者)日常生活用具給付事業 (障害者自立支援日常生活用具給付)	障害者(児)に対し、日常生活用具を給付する。	維持	地域生活支援給付として日常生活用具の支給を障害児も含めて実施した。		障害者自立支援課
208	身体障害児補装具給付事業 (障害者自立支援補装具給付)	障害者(児)に対し、補装具を給付する。	維持	障害者自立支援給付として補装具の支給を障害児も含めて実施した。		障害者自立支援課
209	桜木園管理運営経費	重症心身障害児施設の管理運営を千葉市社会福祉事業団に委託	維持	重症心身障害児施設の管理運営を千葉市社会福祉事業団に委託し、実施した		障害企画課
210	障害児福祉手当支給事業	年4回手当を支給する。	維持	延4,212件の助成を行った。		障害者自立支援課

3 個別事業の進捗状況

基本目標7 支援が必要な子どもと家庭への対応

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
211	身体障害児・知的障害児福祉手当支給事業	年3回手当を支給する。	維持	延11,106件の助成を行った。		障害者自立支援課
212	心身障害児医療費助成事業	医療費の自己負担額を助成する。	維持	延12,583件の助成を行った。		障害者自立支援課
213	児童福祉法外援護事業	補装具の交付・修理、日常生活用具の給付に伴う自己負担額を国基準の1/2とする。	維持	障害者自立支援法の施行により原則1割とされた自己負担額について、激変緩和措置として、補装具の交付・修理、日常生活用具の給付に伴う自己負担額は国基準の1/2とした。		障害者自立支援課
214	普及・啓発事業費(心の輪を広げる体験作文、障害者週間のポスター)	「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を一般に広く募集し、内閣府へ優秀作品の推薦を行う。	維持	市内に広く作文・ポスターを募集し、審査委員会応募作品から優秀作品を選出した。なお、最優秀賞を受賞した方については、障害者週間の期間中(12月3日～9日)に開催される障害者福祉大会で表彰した。		障害企画課
215	肢体不自由児激励会事業	肢体障害児と保護者の交流と親睦を図る。	維持	平成19年12月に千葉市ハーモニープラザ 多目的ホールで開催した。参加者221名(うち障害児者60名)		障害者自立支援課
216	知的障害児激励会事業	知的障害児と保護者の交流と親睦を図る。	維持	平成19年6月に千葉市ポートアリーナで開催した。参加者1,398名(うち障害児656名、保護者513名)		障害者自立支援課
217	特別児童扶養手当支給事業	特別児童扶養手当の支給(4、8、11月の年3回、千葉県が支給、全額国費)に係る取扱事務	維持	特別児童扶養手当の認定請求書類等を受取り、千葉県へ進達する。また、千葉県が支給決定等をしたものに対し、支給決定通知書及び受給者証等を送付した。		障害者自立支援課
218	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)	保護者が病気や社会的理由により、家庭での養育ができない場合に一時的に児童福祉施設等で養育を行う。	拡充	平成19年4月に、稲毛区、若葉区に各1か所拡充し、市内4か所で実施する。(増設:房総双葉学園(稲毛区天台)、旭ヶ丘母子ホーム(若葉区都賀))		子育て支援課
219	子育て短期支援事業(トワイライトステイ事業)	保護者が仕事等で恒常的に帰宅が夜間にいたりする場合や休日に不在の場合などに児童養護施設で夕方から夜間、休日に養育を行う。	拡充	平成19年4月に、稲毛区、若葉区に各1か所拡充し、市内3か所で実施する。(増設:房総双葉学園(稲毛区天台)、旭ヶ丘母子ホーム(若葉区都賀))		子育て支援課
220	里親制度	保護者のいない子どもや保護者の事情で育てられない子どもの養育を里親に委託し、要保護児童の福祉の増進を図る。	維持	保護者のいない子どもや保護者の事情で育てられない子どもの養育を里親に委託し、要保護児童の福祉の増進を図った。(17施設 延べ238人)		子ども家庭福祉課

3 個別事業の進捗状況

基本目標7 支援が必要な子どもと家庭への対応

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
221	児童自立支援施設	不良行為を行った、または、そのおそれのある児童を施設に入所させ自立のための支援を行う。	維持	不良行為を行った、または、そのおそれのある児童を施設に入所させ自立のための支援を行った。(2施設 延べ63人)		子ども家庭福祉課
222	退所児童自立定着指導	児童養護施設や自立支援施設を退所した児童で、就職したが定着できない概ね1年未満の児童に対し、施設に依頼し、施設職員が児童を訪問し定着のための指導を行う。また、就職したが、定着できない児童を自立援助ホームに入所させ、自立へ向けて生活指導を行う施設に支援を行う。	拡充	自立援助ホーム(1か所)へ助成した。		子ども家庭福祉課
223	児童養護施設	保護者がいない、または、保護者等の事情により家庭での養育が困難な児童を施設に入所させ、生活、学習などの指導育成を行い、自立のための支援を行う。また、老朽化している施設の整備・改築を図る。	拡充	家庭での養育が困難な児童を施設に入所させ、生活、学習などの指導育成を行い、自立のための支援を行った。(17施設 延べ1,663人)		子ども家庭福祉課
224	乳児院	保護者がいない、または保護者等の事情により家庭での養育が困難な乳児を施設に入所させ養育する。	維持	保護者がいない、または保護者等の事情により、家庭での養育が困難な乳児を施設に入所させ養育した。(1施設 延べ215人)		子ども家庭福祉課
225	一時保護所運営事業	里親や児童養護施設などへ措置するまでの間一時保護を行う。その間行動観察、生活指導を実施し、援助方針会議、判定会議を経て児童の援助方針を決定する。	維持	要保護児童を一時保護した。 一時保護人員115人		児童相談所
226	母子家庭等就業自立支援センター事業	母子家庭の経済的自立を支援するため、就業相談や講習会の実施など就業支援サービスを拡充する。	拡充	母子家庭等の就職相談を実施し、就業を支援する。 また、就業支援講習会として、パソコン講習会を2回開催した。		子育て支援課
227	母子家庭自立支援訓練給付金事業等	より良い就業に向けた能力を開発するために「自立支援教育訓練給付金」「母子家庭高等技能訓練促進費事業」を実施する。	新規	自立支援教育訓練給付金、高等技能訓練促進費を支給した。		子育て支援課
228	ひとり親家庭生活支援事業	ひとり親家庭の生活基盤の安定を図るため、「生活支援講習」、「児童訪問援助」他をメニュー化実施する。	新規	平日や昼間に育児や生活一般に関すること等について相談する時間をつくれないひとり親のため、土日・夜間電話相談を実施した。		子育て支援課
229	母子生活支援施設改善整備事業	老朽化の著しい母子生活支援施設の入所者の処遇向上を図るとともに、DV対策のための緊急一時保護用居室を含めた改築整備を行う。	新規	H18年度で終了	終	子ども家庭福祉課
230	児童虐待防止推進事業(児童虐待及びDV防止連絡協議会運営)	児童虐待及びDVの防止に関し、関係機関、関係団体等が共通の認識と理解を持ち、緊密な連絡体制を構築することにより、児童虐待及びDVの発生予防と早期発見・早期対応の一層の推進を図るため、外部委員を含めた連絡協議会を開催する。	維持	関係者間の共通の認識と理解を図り、連携体制をより一層充実させた。		男女共同参画課
				要保護児童対策協議会への移行に向けた検討を行った。		子ども家庭福祉課

3 個別事業の進捗状況

基本目標7 支援が必要な子どもと家庭への対応

【進捗状況欄の意味】

… 概ね実施した

- … 今後実施予定

× … 19年度事業予定なし

終 … 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
231	児童虐待対策事業	すべての児童の心身の健全な成長を促すため、児童虐待を防止し、虐待の早期発見、早期対応、保護、支援に至るまでの取り組みを図る。なお、「児童虐待の防止等に関する法律」の一部改正に伴い、虐待の定義及び通告範囲の拡大、さらにはマスコミ等による虐待事件の報道がなされることなどから虐待の通告が増加しているため、福祉事務所等関係機関との連携強化を図る。	拡 充	児童虐待通告への対応・処理を行う。 対応件数364件の対応・処理を行った。		児童相談所
232	育児支援家庭訪問事業	4か月、1歳6か月児、3歳児健康診査等の結果、様々な原因で育児不安の強い家庭・育児ストレス等の問題によって、子育てに対して不安や孤立感を抱える家庭、または虐待に至る恐れ等のリスクを抱える家庭に対する育児指導等を行う。今後、事業内容の充実を図る。	拡 充	養育困難家庭・健診未受診者家庭を対象とし育児支援のために各区週4日の家庭訪問を実施した。		子育て支援課
233	専門職員向け「虐待発見・対応マニュアル」の改正	「児童虐待の防止等に関する法律」の一部改正に伴い、児童虐待の兆候を早期に発見し、関係機関と連携して対応するためのマニュアルを改正し、学校等関係機関に配布する。	拡 充	未決定事項が存したため本年度は実施しなかった。	-	児童相談所
234	MCG(マザー & チャイルドグループ)	グループミーティングによる親と子の関係づくりを支援する。今後、事業内容の充実を図る。	拡 充	保健所で月2回、各保健福祉センター・保健センターで月1回、実施した。		子育て支援課
235	育児ストレス相談	1歳6か月児健診等により育児不安等で悩んでいる保護者を対象に心理士・保健師が個別相談を実施する。	維 持	各保健福祉センター・保健センターで、144回(各区で毎月2回、年24回)実施した。		子育て支援課
236	母子緊急一時保護事業	DV被害者等緊急一時的に保護を必要とする母子をシェルター等の施設で保護を行う。	維 持	母子の保護を実施した。(1施設 4件)		子ども家庭福祉課
237	児童虐待相談体制の整備	児童相談所において、夜間・休日を問わず、いつでも相談に応じられる体制の整備を図る。また、市内社会福祉法人において児童家庭支援センターの整備・拡充を行い子どもに関する様々な相談への対応を図るとともに、児童相談所との連携を図る。	拡 充	社会福祉法人が設置・運営する児童家庭支援センター(3か所)に助成した。		子ども家庭福祉課
				夜間相談員1名(輪番制)を配置した。		児童相談所

3 個別事業の進捗状況

基本目標8 子どもの安全の確保

【進捗状況欄の意味】

・・・ 概ね実施した

- ... 今後実施予定

× ... 19年度事業予定なし

終 ... 終了した事業

計画 NO.	計画事業名	事業内容	今後の 方向性	19年度実績		所管課
				事業内容	進捗 状況	
238	交通安全教育事業	子どもの交通安全を図るため、安全交通推進員が小学校等を訪れ、交通安全教室を開くほか、新1年生に対しよい子の交通安全教室を実施するなど、交通安全ルールの指導・啓発活動を推進する。	拡 充	交通安全教室を205回実施した。		地域安全課
239	学校安全ボランティア推進事業 (学校セーフティウォッチ事業)	学校ごとに地域住民等の「学校安全ボランティア」を育成し、校内パトロール、通学路、横断歩道の見守りなどを行うことについて検討する。	新 規	地域住民等の「学校安全ボランティア」を支援するとともに、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を推進した。		学事課
				小学校1年生に防犯ブザーを配布し、防犯教育を実施した。		保健体育課
240	乳幼児の事故予防教育の強化	医師・保健師等による乳幼児におこりやすい事故予防の講演会を実施する。今後、内容の充実を図る。	拡 充	乳幼児の親を対象とした講演会を各区1回は開催するとともにパンフレット等の活用を図った。		子育て支援課
241	救命講習会の推進	応急手当の講習会を実施する	維 持	救命講習会を467回開催し、9,324人が受講した。		救急救助課
242	防犯対策事業(防犯カメラ設置事業・防犯パトロール隊支援事業・落書き消去活動支援事業)	地域住民による自主的防犯活動を推進するため、防犯活動を実施している団体に対しパトロールに必要な物品を提供する。犯罪防止のため、防犯カメラの設置と落書き消去活動を支援するなど、地域と連携した防犯活動を推進する。	拡 充	防犯カメラ設置10基の管理を行った。防犯パトロール隊支援を219団体にに対して行った。落書き消去支援を4回行った。		地域安全課
243	防犯対策事業(防犯街灯補助金交付事業)	夜間、歩行者が安全に通行できるよう町内自治会等が設置する防犯街灯について設置費や管理費等の補助を行うなど、街灯の設置を推進する。	維 持	48,249灯の管理費、4,029件の修理費、435灯の設置費の一部について補助金を交付した。		地域安全課
244	住宅の防犯性向上と防犯に関する意識の啓発を含めた住情報の提供	住宅の防犯性を高めるための設計・設備等の普及を図るとともに、住宅における防犯に関する意識の啓発を行う。	新 規	住まいアップコーナーで防犯に関する情報(冊子等)を提供した。		住宅政策課
245	環境浄化事業 (「青少年の日」関連行事(仮称)に変更)	青少年の健全育成に悪影響を与える雑誌類の自動販売機や違法広告物の撤去活動及び覚せい剤や麻薬等の乱用防止のため、関係機関・団体及び地域住民が一体となって環境浄化活動を推進する。 (式典の開催や、青少年の健全育成に功労のあった個人・団体を表彰する。(平成20年度は、式典のみ))	維 持	中央区の通町公園をメイン会場として開催したほか、各中学校区で開催した。 参加者: 約2,000名		青少年課
246	子ども110番の家	児童・生徒の登下校の安全を確保するため、地域住民の協力をいただき、緊急避難場所として「子ども110番の家」を青少年育成委員会を通して依頼し、ステッカーを掲示し、地域ぐるみで子どもたちの安全を守る。	維 持	「子ども110番の家」の指定・登録 10,080件		青少年課